

人・情報の整備とは

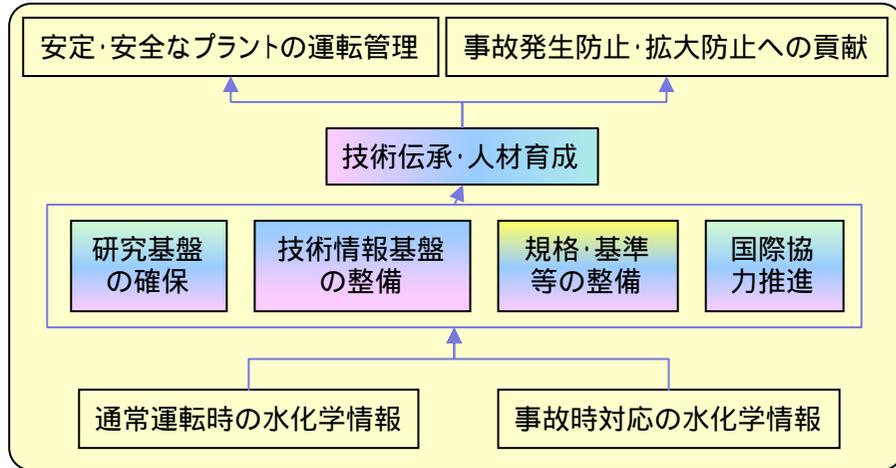
軽水炉プラントの安定的運転のためには、材料、燃料の健全性、それに被ばく線量に直接係わる水化学分野からの貢献が不可欠である。このような役割を担う水化学技術の維持、発展のためには、これまでの技術基盤の体系化・基準化に加え、核となる人材と技術情報基盤の確保が必要である。このためには、「技術情報基盤の整備/技術伝承」、「学協会規格等の整備」および「国際協力」を推進することが必要である。

現状分析

- ・水化学の研究開発及び管理を担う人材の高齢化が進行している。研究の場も狭まっており、コミュニティの維持も危ぶまれる。今後、原子力発電プラントの安全・安定的な運転を継続していくため一層の貢献が求められており、人材確保と技術伝承は緊急の課題である。
- ・人材確保のためには、学术界をはじめとして水化学関連研究の基盤確保が必須で、研究を通して有能な人材の教育と、その結果として、人材の確保が可能となる。
- ・水化学関連技術の整備・体系化を通じ、それを規格・基準、標準の形にまとめていくことは技術の透明性確保や技術伝承の観点で重要である。すでに水化学管理標準、分析標準等の作成に着手、一部は発行されている。これらの活動を更に加速していく必要がある。
- ・廃炉に係わる汚染水処理、腐食、過酷事故時のFP挙動などの水化学分野での寄与が期待されており、挙動解明や設備設計・運用等において、技術情報収集や人材の供給等で貢献している。
- ・水化学技術の高度化や廃炉、事故時対応の水化学情報整備について、国際的な情報交換を継続的に進めると同時に、わが国が培った技術を海外に発信していくことは、地球温暖化対策やエネルギーセキュリティの観点から有用と考えられる。

研究方針

- ・通常運転時および事故時対応時における人・情報の整備として、下記の項目を実施する。
 - (1)研究基盤(場)の確保
 - (2)技術情報基盤の整備と技術伝承
 - (3)規格・基準等の整備
 - (4)国際協力の推進
- ・これらを通じて水化学技術情報を整備するとともに、確実な技術伝承と必要な人材の育成を行い、プラントの安全・安定的な運転を維持および事故の拡大防止に貢献する。



産官学の役割分担

産業界の役割

-安全性・信頼性・経済性の確保向上を目的とした開発研究および基盤整備

- ・実機データ/情報の整理と蓄積
- ・プラント運用に係わる人的資源の確保
- ・水質管理基準等の整備

国・官界の役割

-安全規制につながる安全研究(NRA)安全基盤研究の推進(METI, MEXT)

- ・長期的戦略への指導的役割
- ・規格・基準化の指針
- ・国際間の情報交換体制の整備と海外情報の国内基準への反映

学术界の役割

-知の蓄積と展開(安全基盤研究の推進・検証)
-研究を支える人材の育成

- ・基礎・基盤データの整理と蓄積
- ・先進知見の提供
- ・教育、人材の継続的供給

学協会の役割

-規格基準化とその高度化に貢献

- ・規格基準・民間標準策定
- ・国内外への情報発信
- ・人的交流と育成

産官学の連携

- ・情報整備の効率的推進
- ・産官学間の人材交流

関連分野との連携

軽水炉安全技術・人材RM

図 7.2-2 人・情報の整備に係わる導入シナリオ